

前回委員会における需給・価格見通しと実績の対比

1. 前回の委員会（平成22年3月4日）で示した春キャベツの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（6月下旬時点）	備考
春キャベツ (4～6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作付面積は、愛知を中心に増えており、前年を上回る。 ・ 今後、気象が平年並に推移すれば、5・6月を中心に、前年を上回る出荷が見込まれる。 ・ 消費に関しては、近年やや増加を示す統計データはあるものの、出荷量の増加に見合う消費増は期待できないとみられる。 ・ このため、価格は、4月は平年並を維持するものの、5・6月は前年を下回ることが見込まれる。 	<p>(入荷量)</p> <p>4月は、天候不順の影響で神奈川県産を中心に生育が遅れ、大幅に入荷減となった。しかし、5月は、上旬の好天により生育回復し、計画分と生育遅れ分が重なり、入荷が急増したことから、前年をかなり上回る入荷となった。6月は作業が遅れた千葉県産の入荷が増えたものの、群馬県産などの高原産が遅れたことから前年をわずかに下回る入荷量となった。全体としては、前年をわずかに下回った。</p> <p>(4月～6月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 98)</p> <p>(価格)</p> <p>4月は天候不順の影響を受けて入荷の大幅減となったことから前年より大幅に上回った。5月は神奈川県産の入荷増により前年を大幅に下回り、6月は、上・中旬が前年より入荷減となったことから前年を大幅に上回り、全体としては前年をかなり上回った。</p> <p>(4月～6月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 113)</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪府中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

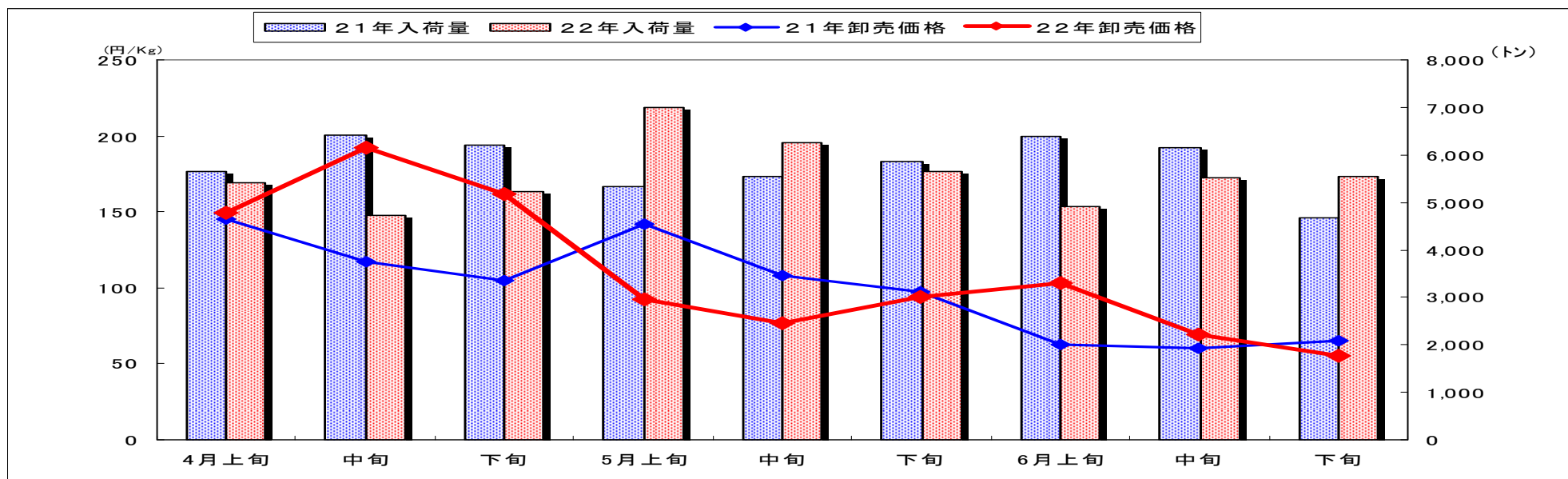
(参考1)

○22年産春キャベツの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	96	74	84	131	113	96	77	90	119	98
価格	103	164	154	65	71	97	163	115	85	113

(参考2)

○22年産春キャベツの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



2. 前回の委員会（平成 22 年 3 月 4 日）で示したたまねぎの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（6 月下旬時点）	備 考
たまねぎ (4～6 月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道産の不作に伴い、高水準で推移した価格の動向は、4 月以降弱まるものとみられる。 ・ 今後、気象が平年並に推移すれば、府県産は平年並の出荷量を維持することができるとみられることから、5 月以降、価格は、前年を下回ることが見込まれる。 ・ なお、輸入ものも一定量が入っているが、生鮮ものの価格に影響することは少ないものとみられる。 	<p>(入荷量)</p> <p>4 月は、貯蔵ものの北海道産が少なく、低温等天候不順の影響で佐賀県を中心にかなり入荷減となった。しかし、5 月上旬の好天により生育が回復し、生育は順調となったが、6 月は入荷量が前年に届かず、全体としては、やや下回った。</p> <p>(4 月～6 月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 9 7)</p> <p>(価格)</p> <p>4 月は天候不順の影響を受けて入荷の大幅減となったことから高値展開となり、5 月は生育は順調となったが小玉傾向となり高めで推移し、6 月も入荷量は伸びず、前年を上回った。全体としては大幅に上回った。</p> <p>(4 月～6 月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 1 2 0)</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中心卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1)

○22年産たまねぎの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	93	80	101	110	89	100	97	92	114	97
価格	141	151	149	130	107	97	104	104	99	120

(参考2)

○ 22年産たまねぎの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）

